## └■しずだい産学連携メールマガジンVol. 60

2012年12月18日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報 をお届けします。http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/からもご覧頂けます。

## ◆◇◆ 目次 ◆◇◆

- 「静岡大学 機器分析センター講習会」のご案内
- 「産学官マッチング会in三島2013」開催のご案内
- 「震災後の日本を考える社会の読み方、創り方」のご案内

※問合先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更してい ます。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

1. 「静岡大学 機器分析センター講習会」のご案内 ~GC-TOFMS 講習会(上級者向けを実施します)~

[上級者向け]

·講義 2012年12月19日 午前10時20分~12時(予定) 日時

> 【会場】静岡大学 総合研究棟414室 (静岡市駿河区大谷836) · 実習 2012年12月19日 午後13時30分~16時(予定) 【会場】静岡大学 総合研究棟106室 (静岡市駿河区大谷836)

内容 高分解能質量分析のてびき

竹本裕之 静岡大学技術部 技術職員(機器分析センター勤務) 希望者どなたでも 講師

対象

12,000 円 (講義、実習のいずれか、又は両方に参加した場合) 【講義・実習】制限無し 参加費

定員

詳細 http://www.shizuoka.ac.jp/~kikibun/

2012年12月12日 (水) 申込締切

静岡大学機器分析センター TEL 054-238-4834 申込/問合先

E-mail ukikibun[at]ipc. shizuoka. ac. jp

## 「産学官マッチング会in三島2013」開催のご案内

東海iNETと静岡TTOでは、地域産業界の皆様との技術交流を促進し、 大学等の研究成果を普及する場として「産学官マッチング会in三島2013」を

下記のように開催します。
本会は、従来行われていた「大学等が選んだ研究成果をご紹介する場」から
一歩進んで、「地域産業界の皆様のご要望にあわせた研究成果をご紹介する場」
として企業ニーズと大学等シーズのマッチングを促進するものです。
本会の発表課題につきましては、事前アンケート調査を基に

プログラムを構成しております。

事前アンケート調査へのご協力、ありがとうございました。

2013年1月17日 (木) 13:10~ 日時

場所 三島市民文化会館 3階大会議室

東海iNET、静岡技術移転合同会社(静岡TTO) 主催

詳細 http://stto.jp/

参加費 無料

申込締切 2013年1月15日 (火)

静岡大学イノベーション社会連携推進機構 問合/申込先

TEL 053-478-1718 FAX 053-478-1711 E-mail match2012[at]cjr.shizuoka.ac.jp

「震災後の日本を考える社会の読み方、創り方」のご案内

第4回 2013年1月12日 (土) 14:00~16:00

検証・新しいエネルギー計画はどのようにつくられたのか

講師:水谷 洋一 (静岡大学人文社会科学部教授)+環境政策研究室学生

会場:静岡大学浜松キャンパス・工学部システム棟11教室

第5回 2013年2月2日 (土) 14:00~16:00

これからの政治のあり方 ~インターネットと政治参加~

講師:佐藤 哲也(静岡大学情報学部准教授)

会場:静岡大学浜松キャンパス・工学部システム棟11教室

定員 50人 (先着順)

参加費 無料

主催 静岡大学・中日新聞東海本社 http://www.lc.shizuoka.ac.jp/ 申込み

FAX・メール・はがきでもお申し込みできます(先着順)。

FAX: 054-238-4295

E-mail LLC[at]entry. Lc. shizuoka. ac. jp 〒424-8529 静岡市駿河区大谷836

静岡大学社会連携推進機構 連携講座係

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・ 配信中止のご連絡は、sangakukoho5[at]cjr.shizuoka.ac.jp まで お願いします。 (↑送付の際は[at]を@に変更してください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

## 発丨行丨者

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構

発行責任者:木村雅和 〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1703

URL http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/

Copyright(c) 2008-2012 Organization for Innovation and Social Collaboration, Shizuoka University. All rights reserved